

校長室だより

第7号

柏原市立柏原中学校
校長 石田 智
令和6年8月28日（水）発行

○始業式

38日間の夏休みを終え、昨日（8月27日）2学期の始業式を行いました。心配していた河川の水難事故や大きな怪我もなく始業式を迎えることができ、本当に良かったと思います。この夏休みの期間、私は多くのクラブの試合や発表会に顔を出させていただきました。運動部の3年生にとっては引退のかかった試合が多かったということもあり、正に手に汗握る場面の連続でした。一生懸命プレーや演奏をしている生徒たちは本当に輝いており、改めて一生懸命に取り組むことの素晴らしさを感じた次第です。試合会場には休日だけでなく平日でもたくさんの保護者の方が応援に来てくださっていました。この場を借りて厚くお礼申し上げます。

（始業式の式辞より）

今回のオリンピックの中で、とても印象に残ったのは、スケートボードの女子パークにおける四十住（よそすみ）さくら選手の言葉でした。前回の東京大会で初代金メダルに輝いた彼女には、オリンピック連覇の期待がかかっていました。しかし、8月6日に行われた予選にて、6番手で登場した彼女は、得点を伸ばすことができず暫定4位となりました。決勝に進出するためには、上位8位までに入らなければなりません。つまり自分が決勝に残れるかどうかは、残りの選手の結果次第になります。その時、彼女はインタビューで「最後まであきらめません。でも、人の失敗は祈りたくないの。」と話されていました。私はまだ弱冠22歳の、何とも潔く、そして尊いその発言に大変感銘を受けました。結局彼女は予選10位となり、残念ながら決勝に進むことはできませんでしたが、その「人の失敗を祈りたくない」という他の選手への敬意の表し方は、誇り高きスポーツマンシップとして、あらゆる方面から称賛されました。小学校6年生からずっとスケートボード一色と言えるような生活をしてきた彼女にとって、前回大会と同様に金メダルを取るというのは誰よりも強い思いがあったことでしょう。それでも、自分が結果を残すために人の失敗を祈るようなことはしたくないという、そんな自分自身に誇りを持てる生き方が、周囲に感動を与えたのだと思います。私もそのような生き方をしていかなければいけないと考えさせられた一件でありました。

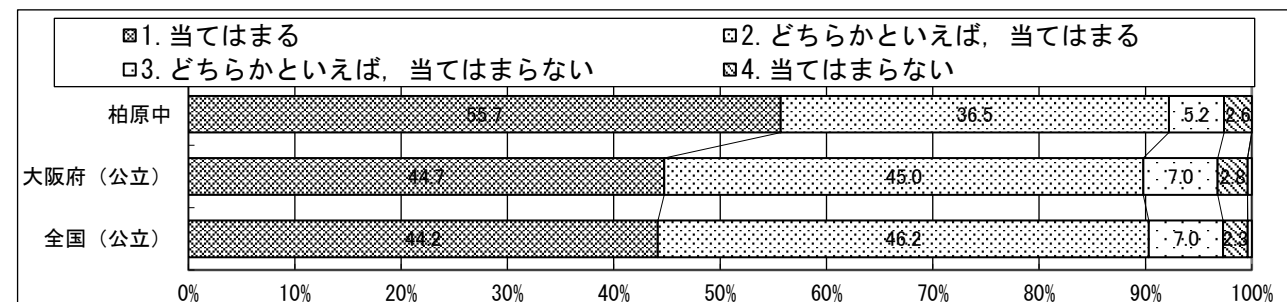
式の後には集会に移り、夏休み中に行われたクラブ活動の試合や発表会の表彰を行いました。合計8つのクラブの表彰があり、大勢の生徒が壇上で賞状や優勝旗、トロフィーなどを授与され、学校全員で拍手をもって活躍を讃えました。



○全国学力・学習状況調査の結果から

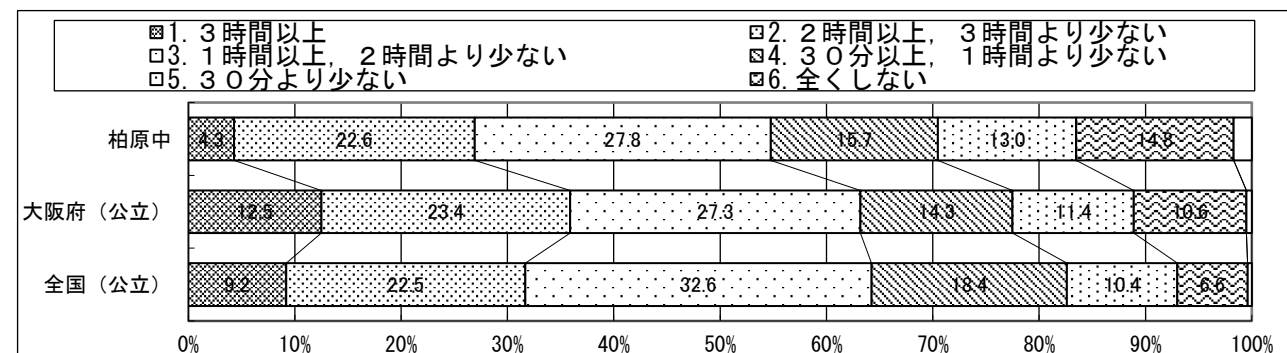
4月18日に3年生を対象に実施された全国・学力学習状況調査の結果が届きました。実施教科（国・数）の平均正答率は全国や大阪府と大きな差はありませんでした。ここでは同時に行われた生徒質問紙調査において、本校の傾向が分かるものをいくつか取り上げて紹介します。

○先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



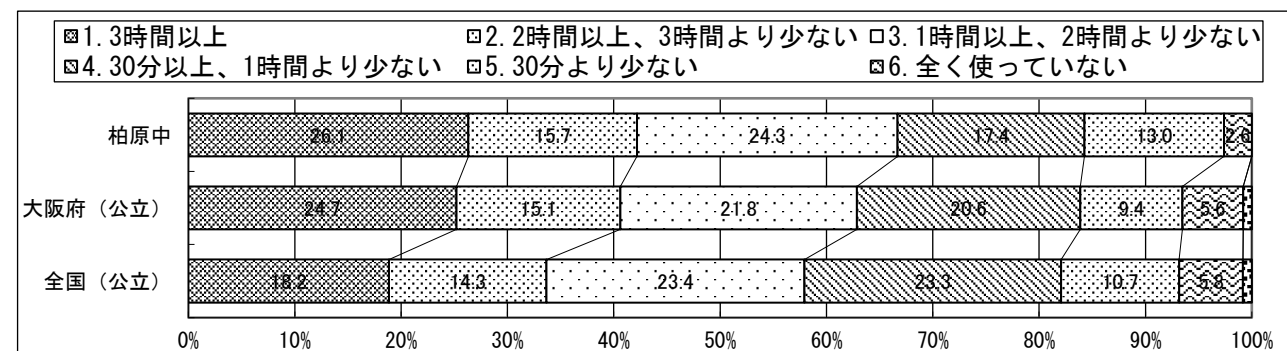
「当てはまる」が全国より11.5%も高いのが喜ばしいことです。「どちらかといえば、当てはまる」と合わせると92.2%になり、ここでも大阪府や全国を上回っています。生徒たちと教職員の関係が良好であることが伺えます。

○学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）



全国や大阪府に比べ2時間以上勉強している割合が低く、反対に「30分より少ない」「全くしない」の割合が高い傾向が見えます。塾や家庭教師等の時間を含めていると考えますと、学校外の学習時間はかなり短いことが見て取れます。

○普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームする時間は除く）



3時間以上、2時間以上、1時間以上、そのどれもが全国や大阪府より高い割合を占めています。普段これだけの時間SNSや動画視聴に時間を費やしていることが、学習にかける時間を少なくしている要因だと推察されます。

上記の結果を参考に、ご家庭でもスマートフォンの扱い等についてお話いただければ幸いです。なお、結果の個人票は今週中に配付いたしますので、正答・誤答などお子様の解答状況をご確認いただき、今後の学習に生かしていただきますようお願いいたします。